

- ▶ 北九州市では、令和2年度から、森林環境譲与税を活用して、公共施設に国産木材を使用した施設を導入している。
- ▶ 令和3年度においては、
 - ・ 赤ちゃんからおとなまで、家族で楽しめる子育て支援施設「子どもの館」に、木製の大型スライダーを設置、
 - ・ また、農林業の振興や市民と農林業の接点の場である「市立総合農事センター」に県産材を使用した休憩施設を整備するなど、木のぬくもりを感じられる機会の創出や、国産木材の利用啓発に取り組んだ。
- ▶ 令和4年度以降は、国産材、県産材だけでなく、市産材を利用した施設の導入も目指している。

□ 事業内容

1 日本の木材と触れ合える子育て・青少年施設的环境整備事業

- ・ 子育て支援施設、青少年施設及び放課後児童クラブに、国産木材を使用した施設を導入。

【事業費】23,967千円（全額譲与税）

【実績】子ども家庭局所管施設

子育て支援施設（1施設）：木製遊具の整備

青少年施設（6施設）：木製家具等の購入

放課後児童クラブ（6施設）：木製カバン棚、下足箱等の整備

2 森林機能向上事業（木材利用の推進）

- ・ 市立総合農事センターに、県産材を使用した休憩施設を整備。

【事業費】10,890千円（全額譲与税）

【実績】パーゴラ 1基、木製ベンチ 11基



野外卓
（青少年施設：矢筈山キャンプ場）



パーゴラとベンチ
（市立総合農事センター）

□ 工夫・留意した点

- ・ 幅広い世代が利用する市内の様々な公共施設に、木製施設を導入することで、赤ちゃんから青少年、おとなまで多様な世代に対し、国産木材と触れ合える機会を創出した。



木製大型スライダー
（子どもの館）
サクラやブナなど様々な樹種の北海道産無垢材を使用。

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	91,488千円
②私有林人工林面積（※1）	3,503ha
③林野率（※2）	39.5%
④人口（※3）	939,029人
⑤林業就業者数（※3）	59人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より